

編集 設計 校正 DTP 文章・記事

総合コース

編集コース

校正コース

選択研修コース

校正検定訓練

InDesign:本づくりコース

セミナー

DTP 体験講座

セミナー

言葉と文章の直し方・活かし方



編集・校正の技能が必要な時代

仕事の場でも生活の場でも、文章・イラスト・写真をメディアにのせることが容易になり、その機会も増えています。だれもが編集や校正をする可能性があるともいえます。

編集は、いままでにないものを新しく生み出す仕事です。たとえ同じ内容でも読み手が異なれば、新たに作り出さなくてはなりません。そしてその内容を、想定される読み手に向けて、読みやすく、見やすく、よくまとまったものとして伝える必要があります。

本や雑誌は、テキストや写真などがあって、それを決まったフォーマットに流し込めば、出来上がるのではなく、企画としての見きわめがあり、原稿の点検や整理があり、1冊ごとの設計があり、校正を経ることによって完成します。

こうした技能を学ぶことは、出版をめざす人、出版の世界で働く人にとっても、仕事や生活の場でそれを生かそうと考える人にとっても、それぞれの編集段階で何をしてはならないか、その基礎を覚えることであり、実際に応用するためのよりどころを得ることもなります。

夜間部は、企画から校正までの要点をおさえ、さらに校正は高いレベルまで学べるカリキュラムになっています。



④ 夜間講座一覧

⑥ 総合コース

⑦ 編集コース

⑧ 校正コース

⑨ 選択研修コース

⑩ 校正検定訓練

⑪ InDesign:本づくりコース

② 編集・校正の技能が必要な時代

③ 出版の世界で働くために—夜間講座の特長

⑫ 校正技能検定—就職・転職に活かせる資格

⑬ 年代・職業・目的など、受講生はさまざま—受講生統計・Q&A

⑭ 就職と求人状況—「就職相談室」が強力にサポート

⑮ 修了生からのメッセージ

⑯ 夜間講座申込方法

体験 校正1日教室のご案内
学校説明会と入学相談のご案内

⑰ 共通入学申込書

出版の世界で働くために

夜間講座の特長

1 業務に直結した講座群とカリキュラム

夜間講座は、書籍・雑誌づくり、校正に必要な編集技能が学べるユニットから構成されており、体系化されたテキストと教材を使用し、レクチャーと実習・解説を中心に講義を進め、業務に必要な技能が身につけられます。

2 目的・レベルに応じてコースを選択できる

夜間講座には編集コースと校正コースのほかに、編集・校正・文章作成・InDesignなど総合的な技能を身につけられる総合コース、必要な講義だけを受講できる選択研修コース、校正技能検定合格にむけた校正検定訓練など、受講の目的やレベルに合わせたコース選択が可能です。

3 短期間の学習で技能を習得できる

3カ月(1ユニット12回)を学習単位とし、編集に必要な各技能を短期間で習得できます。開講は年3回(4月、9月、1月)です。講義時間は18時45分から20時45分で、会社に勤務している方、大学や短大に在学中の方にも、学習計画がたてやすい時間帯です。

4 就職に活用できる校正技能検定

校正ユニット①、②、③を修了された方には「校正技能検定〈初級〉」が認定され、「校正技能検定〈中級〉」の受験資格が得られます。試験の合格者は就職に際して、自分の実力を明確に示すことにより、これらの資格を有利に活用することができます。

校正技能検定〈初級〉認定

校正技能検定〈中級〉受験資格

5 豊富な求人です就職を確実に

編集技能を身につけたスクール修了生に向けた求人が、出版社や編集プロダクション・関連企業などから年間を通して寄せられます。「就職相談室」では、在学中の就職相談、修了後の求人社の紹介などで、就職活動をサポートしていきます。

就職相談室登録資格

夜間講座一覧：充実したカリキュラムで書籍・雑誌づくり、校正に必要な技能を習得

総合コース

夜間講座のすべてが学べるコース

編集コース 校正コース

編集ユニット 校正ユニット①

設計ユニット 校正ユニット②

校正ユニット③

検定訓練 InDesign

文章セミナー DTPセミナー

編集コース

編集者に必要な技能が学べるコース

編集ユニット 校正ユニット①

設計ユニット

校正コース

専門校正者としての実をつけるコース

編集ユニット 校正ユニット①

校正ユニット②

校正ユニット③

選択研修コース

必要なユニットだけ学べるコース

編集ユニット 校正ユニット①

設計ユニット 校正ユニット②

校正ユニット③

編集ユニット

企画と編集

編集や校正に携わる人に必要な本と出版の基礎知識をここで押さえ、本や雑誌の核となる企画について、また原稿を出版物にふさわしく整える原稿編集について学びます。

- 本と出版の基礎知識
- 1 本の知識と編集の仕事
 - 2 出版の基礎知識
- 企画編集の実務
- 3 企画の立案
 - 4 企画の実現
- 雑誌編集の基礎知識
- 5 雑誌の基礎知識
 - 6 雑誌の企画と編集の実務
- 原稿編集の実務—原稿の扱いと内容の整理
- 7 原稿の種類と扱い方
 - 8 原稿内容の整理
- 原稿編集の実務—表記の整理
- 9 表記の整理 1
 - 10 表記の整理 2
 - 11 表記の整理 3
- 著作権と出版契約
- 12 著作権と出版契約

設計ユニット

本と雑誌の設計

原稿を本や雑誌の形に作り上げるための、出版物設計のセオリーを学びます。読みやすいページにするためのルールから、内容にふさわしい用紙や製本の考え方まで、基本的な知識を身につけます。

- 本のかたち・雑誌のかたち
- 1 本と雑誌の設計の特徴
- 本と雑誌の設計の実務
- 2 印刷文字の知識
 - 3 基本フォーマットと見出しの設計
 - 4 行の組方ルール
 - 5 写真・図版の原稿の作成
 - 6 図版・写真・表の組み込み
- DTPによる設計
- 7 本の設計
 - 8 雑誌の設計
 - 9 画像データの扱い
- 印刷・製本・用紙の知識
- 10 印刷と製本の知識
 - 11 用紙の知識
 - 12 印刷・製本発注と定価計算

校正検定訓練

InDesign: 本づくりコース

セミナー
言葉と文章の
直し方・活かし方

セミナー
DTP体験教室

校正ユニット①

校正基礎実習

校正の記号の使い方、校正の基本である1字1字の確実な照合、校正刷を読んで問題点をチェックする「素読み校正」など、校正の基礎を実技を通して段階的に学んでいきます。

- 校正の基本
- 1 校正の順序と方法・校正記号の使い方
- 原稿引合せ実習
- 2 文字の照合
 - 3 文字の計り方
- 組方の確認
- 4 行の組方
 - 5 ページの組方
 - 6 横組の組方ルール
- 約物・記号・ルビの校正
- 7 ルビ(振り仮名)の校正
- 赤字引合せと素読み校正
- 8 赤字引合せの注意点
 - 9 表記の点検 1
 - 10 表記の点検 2
 - 11 素読み校正の注意点 1
 - 12 素読み校正の注意点 2

校正ユニット②

タテ組校正実習

校正ユニット①の学習を基にタテ組のルールを理解し、精度の高い校正の力をつけるための訓練を繰り返し行います。並行して、さまざまな印刷物や状況に対応できる実務能力を身につけていきます。

- タテ組校正の実際
- 1 校正の基本事項の確認
 - 2 誤植の原因
 - 3 本の体裁とタテ組の組方ルール
 - 4 原稿の種類による校正のポイント
 - 5 ルビの組方と校正
 - 6 データ入稿とデジタル原稿の漢字の知識
 - 7 素読み校正のポイント 1
 - 8 素読み校正のポイント 2
 - 9 目次・注・図版の校正
 - 10 商業印刷物校正の実際
 - 11 雑誌校正の実際
 - 12 校正の作業順序とポイント (初校・再校・三校・校了)

校正ユニット③

ヨコ組校正実習

ヨコ組の本の特徴を理解し、ヨコ組校正に必要な欧文文字の知識や記号の使い方、欧文表記や組方ルールを学習しながら一般書籍から専門書まで対応できる校正訓練を行います。

- ヨコ組校正の実際
- 1 基本事項の確認
 - 2 和文文字と欧文文字
 - 3 本の体裁とヨコ組の組方ルール
 - 4 和欧文混ぜ組
 - 5 約物と記号類の使い方
 - 6 数字表記と単位記号
 - 7 ヨコ組ルビの組方
 - 8 数式・化学式の校正
 - 9 英文校正の実際 ビジネス文書の校正
 - 10 PDFファイルを利用した校正
 - 11 索引の校正
 - 12 校正の作業順序とポイント

* 講義テーマは変更することがあります。ご了承ください。

総合コース

校正技能検定〈中級〉〈上級〉対応講座
就職相談室登録資格

*講義時間 18:45~20:45 / 週1~5回 / ユニット各12週 / 最長2年在籍可
*開講日(日程)・講義曜日については夜間講座募集要項をご覧ください

すべての職種に対応できる編集技能を習得したい方のためのコースです。在籍中は、夜間講座の全コース(全ユニット), InDesign:本づくりコース, セミナーの「言葉と文章の直し方・活かし方」「DTP体験講座」を受講できます。自分で学習計画を設定して、無理なく出版編集業務に関する技能を学べます。学習を積み重ねることにより、編集者としての総合的な力を身につけられます。

総合コースの特長

- 総合コースの受講は、春期、秋期、冬期のどの開講時期からでも可能です。
- 入学期を含めて最大6期(2年間)の在籍が認められていますので、在籍期間を有効に利用して技能を高めることができます。
- 在籍中は校正など実習中心の講座を繰り返し受講することもでき、訓練を重ねることでより専門的な力を蓄えることができます。
- 総合コースの修了は、「編集コース」と「校正コース」に相当するユニットの履修が条件となります。
- 総合コースは特別割引受講料を設定しています。複数のコースを個々にお申込みの場合に比べ、受講しやすくなっています。

受講期間と受講方法

- 受講期間：週1~5回×6期(2年)
- 受講方法：総合コースは3つのコース(全ユニット), 校正検定訓練, 2つのセミナーを、最大6期にわたって自由に選択して受講することができます。校正ユニットや文章セミナーなどは、くり返し受講し訓練を重ねることもできます。

- 校正コース修了後は「校正技能検定(初級)」が認定され、さらに「校正技能検定(中級)試験」の受験資格が得られます。校正技能検定合格により、自分の学習成果を確認できます。また、習得した技能レベルを明確に示すことで、就職活動を有利に進めることができます。
- 規定のユニットを修了することで、「就職相談室」への登録資格が得られ、在学中から就職相談室を利用した就職活動も可能です。出版業界で実務をこなしながら、さらに学習を続けることができます。就職相談室は求人情報の提供や就職相談をとおり、修了生の方の就職活動をサポートしています。

納入方法	合計	申込時納入額	入学金	受講料	テキスト代
一括	454,920円 編集用具費別※1	454,920	内 30,000	420,000	4,920 【内訳】 本の知識500 原稿編集ルールブック500 日本語表記ルールブック500 文字の組方ルールブック(タテ組編)500 文字の組方ルールブック(ヨコ組編)500 校正練習帳500 校正必修1,920
分割	484,920円 編集用具費別※1	234,920	初回200,000 残金 25,000×10	450,000	

※1 印刷文字スケールセット1,575円が必要です。
(アメリカンポイント・DTPポイント・縦数の3枚/各525円)
*表示金額は税込です。すでにお持ちの場合はテキスト代は不要です。

自由に受講できるコース・ユニット・セミナー



編集コース

就職相談室登録資格

*講義時間 18:45~20:45 / 週1~3回 / ユニット各12週
*開講日(日程)・講義曜日については夜間講座募集要項をご覧ください

編集者に必要な企画・編集・造本設計・DTP・校正の技能をひとつとり学ぶことができます。出版・広報・Webなど、編集技能を必要とするどのような場でも役立つ力がつきます。

本づくりのながれと対応ユニット



- 修了後は「就職相談室」への登録資格が得られます。就職相談室は求人情報の提供や就職相談をとおり、修了生の方の就職活動をサポートしています。

受講期間と受講方法

- 受講期間：週3回×1期(3カ月)
- 受講方法：編集コースは週3回、3つのユニットを同時期に受講するほかに、2期(週2回+週1回), 3期(週1回×3期)にわけて受講することもできます。

ステップアップ受講

- InDesign:本づくりコース：DTPの知識と技能が編集に役立ちます。
- DTP体験教室(セミナー)：DTPの基礎がわかります。
- 言葉と文章の直し方・活かし方(セミナー)：文章作成のポイントがわかります。

納入方法	合計	申込時納入額	入学金	受講料	テキスト代
一括	148,920円 編集用具費別※1	148,920	内 10,000	134,000	4,920 【内訳】 本の知識500 原稿編集ルールブック500 日本語表記ルールブック500 文字の組方ルールブック(タテ組編)500 文字の組方ルールブック(ヨコ組編)500 校正練習帳500 校正必修1,920
分割	154,920円 編集用具費別※1	73,920	初回59,000 残金27,000×3	140,000	

※1 印刷文字スケールセット1,575円が必要です。
(アメリカンポイント・DTPポイント・縦数の3枚/各525円)
*表示金額は税込です。すでにお持ちの場合はテキスト代は不要です。

編集ユニット

企画と編集

編集や校正に携わる人に必要な本と出版の基礎知識をここで押さえ、本や雑誌の核となる企画について、また原稿を出版物にふさわしく整える原稿編集について学びます。

本と出版の基礎知識

- 1 本の知識と編集の仕事
- 2 出版の基礎知識

企画編集の実務

- 3 企画の立案
- 4 企画の実現

雑誌編集の基礎知識

- 5 雑誌の基礎知識
- 6 雑誌の企画と編集の実務

原稿編集の実務—原稿の扱いと内容の整理

- 7 原稿の種類と扱い方
- 8 原稿内容の整理

原稿編集の実務—表記の整理

- 9 表記の整理 1
- 10 表記の整理 2
- 11 表記の整理 3

著作権と出版契約

- 12 著作権と出版契約

設計ユニット

本と雑誌の設計

原稿を本や雑誌の形に作り上げるための、出版物設計のセオリーを学びます。読みやすいページにするためのルールから、内容にふさわしい用紙や製本の考え方で、基本的な知識を身につけます。

本のかたち・雑誌のかたち

- 1 本と雑誌の設計の特徴

本と雑誌の設計の実務

- 2 印刷文字の知識
- 3 基本フォーマットと見出しの設計
- 4 行の組方ルール
- 5 写真・図版の原稿の作成
- 6 図版・写真・表の組み込み

DTPによる設計

- 7 本の設計
- 8 雑誌の設計
- 9 画像データの扱い

印刷・製本・用紙の知識

- 10 印刷と製本の知識
- 11 用紙の知識
- 12 印刷・製本発注と定価計算

校正ユニット①

校正基礎実習

校正の記号の使い方、校正の基本である1字1字の確実な照合、校正刷を読んで問題点をチェックする「素読み校正」など、校正の基礎を実技を通して段階的に学んでいきます。

校正の基本

- 1 校正の順序と方法・校正記号の使い方

原稿引合せ実習

- 2 文字の照合
- 3 文字の計り方

組方の確認

- 4 行の組方
- 5 ページの組方
- 6 横組の組方ルール

約物・記号・ルビの校正

- 7 ルビ(振り仮名)の校正

赤字引合せと素読み校正

- 8 赤字引合せの注意点
- 9 表記の点検 1
- 10 表記の点検 2
- 11 素読み校正の注意点 1
- 12 素読み校正の注意点 2

校正コース

校正技能検定〈中級〉〈上級〉対応講座
就職相談室登録資格

*講義時間 18:45~20:45 / 週2回×2期 / ユニット各12週
*開講日(日程)・講義曜日については夜間講座募集要項をご覧ください

専門校正者としての実力をつけるコース。
一般書から専門書まで段階的に校正の訓練を行います。
ビジネスシーンにも活用できる英文・商業印刷物の校正なども知ることができます。

- 修了後は「校正技能検定〈初級〉」が認定され、さらに「校正技能検定〈中級〉試験」の受験資格が得られます。校正技能検定合格により、自分の学習成果を確認できます。また、習得した技能レベルを明確に示すことで、就職活動を有利に進めることができます。
- 「就職相談室」への登録資格が得られます。就職相談室は求人情報の提供や就職相談をとおり、修了生の方の求職活動をサポートしています。

受講期間と受講方法

- 受講期間：週2回×2期(6カ月)
- 受講方法：校正コースは4つのユニットを週2回、2期(前期：編集ユニット+校正ユニット①、後期：校正ユニット②+校正ユニット③)にわたって受講するほかに、1ユニットずつ4期で受講する方法もあります。

ステップアップ受講

- 校正検定訓練：校正技能検定試験の合格に向けて訓練を重ねます。
- InDesign: 本づくりコース：DTPの知識と技能が校正に役立ちます。

納入方法	合計	申込時納入額	入学金	受講料	テキスト代
一括	193,920円 編集用具費別※1	193,920円	内 訳 10,000	179,000	4,920 【内訳】 本の知識500 原稿編集ルールブック500 日本語表記ルールブック500 文字の組方ルールブック(タテ組編)500 文字の組方ルールブック(ヨコ組編)500 校正練習帳500 校正必携1,920
分割	201,920円 編集用具費別※1	66,920円		187,000 初回52,000 残金27,000×5	

※1 印刷文字スケールセット1,575円が必要です。
(アメリカンポイント・DTPポイント・級数の3枚 / 各525円)

編集ユニット

企画と編集

編集や校正に携わる人に必要な本と出版の基礎知識をここで押さえ、本や雑誌の核となる企画について、また原稿を出版物にふさわしく整える原稿編集について学びます。

本と出版の基礎知識

- 1 本の知識と編集の仕事
- 2 出版の基礎知識

企画編集の実務

- 3 企画の立案
- 4 企画の実現

雑誌編集の基礎知識

- 5 雑誌の基礎知識
- 6 雑誌の企画と編集の実務

原稿編集の実務—原稿の扱いと内容の整理

- 7 原稿の種類と扱い方
- 8 原稿内容の整理

原稿編集の実務—表記の整理

- 9 表記の整理1
- 10 表記の整理2
- 11 表記の整理3

著作権と出版契約

- 12 著作権と出版契約

校正ユニット①

校正基礎実習

校正の記号の使い方、校正の基本である1字1字の確実な照合、校正刷を読んで問題点をチェックする「素読み校正」など、校正の基礎を実技を通して段階的に学んでいきます。

校正の基本

- 1 校正の順序と方法・校正記号の使い方

原稿引合せ実習

- 2 文字の照合
- 3 文字の計り方

組方の確認

- 4 行の組方
- 5 ページの組方

6 横組の組方ルール

- 7 ルビ(振り仮名)の校正

赤字引合せと素読み校正

- 8 赤字引合せの注意点
- 9 表記の点検1

10 表記の点検2

- 11 素読み校正の注意点1
- 12 素読み校正の注意点2

校正ユニット①②③ 講義の進め方

- 講義(校正に必要な知識や作業ポイントを理解します)
- 実習・訓練(講義を理解し実践できるように訓練をし、実務能力を蓄積します)
- 添削・講評(自分の理解度や実務レベルのチェックができます)

校正ユニット②

タテ組校正実習

校正ユニット①の学習を基にタテ組のルールを理解し、精度の高い校正の力をつけるための訓練を繰り返していきます。並行して、さまざまな印刷物や状況に対応できる実務能力を身につけていきます。

タテ組校正の実際

- 1 校正の基本事項の確認
- 2 誤植の原因
- 3 本の体裁とタテ組の組方ルール
- 4 原稿の種類による校正のポイント
- 5 ルビの組方と校正
- 6 データ入稿とデジタル原稿の漢字の知識
- 7 素読み校正のポイント1
- 8 素読み校正のポイント2
- 9 目次・注・図版の校正
- 10 商業印刷物校正の実際
- 11 雑誌校正の実際
- 12 校正の作業順序とポイント(初校・再校・三校・校了)

校正ユニット③

ヨコ組校正実習

ヨコ組の本の特徴を理解し、ヨコ組校正に必要な欧文文字の知識や記号の使い方、欧文表記や組方ルールを学習しながら一般書籍から専門書まで対応できる校正訓練を行います。

ヨコ組校正の実際

- 1 基本事項の確認
- 2 和文文字と欧文文字
- 3 本の体裁とヨコ組の組方ルール
- 4 和欧文混ぜ組
- 5 約物と記号類の使い方
- 6 数字表記と単位記号
- 7 ヨコ組ルビの組方
- 8 数式・化学式の校正
- 9 英文校正の実際 ビジネス文書の校正
- 10 PDFファイルを利用した校正
- 11 索引の校正
- 12 校正の作業順序とポイント

選択研修コース

*講義時間 18:45~20:45 / 週1回~ / ユニット各12週
*開講日(日程)・講義曜日については夜間講座募集要項をご覧ください

技能習得の目的やレベルに応じて、夜間講座の全5ユニットを自由に選択し、学べるコース。
スキルアップや、研修を短期間でしたいという方にも適したコースです。

- 校正ユニット①・②・③を修了された方は、「校正技能検定〈初級〉」が認定され、さらに「校正技能検定〈中級〉試験」の受験資格が得られます。校正技能検定合格により、自分の学習成果を確認できます。また、習得した技能レベルを明確に示すことで、就職活動を有利に進めることができます。
- 「編集コース」または「校正コース」のいずれかに相当するユニットの履修条件を満たした方は、修了後に「就職相談室」への登録資格が得られます。就職相談室は求人情報の提供や就職相談をとおり、修了生の方の求職活動をサポートしています。

自由に選択できる5つのユニット

編集ユニット

企画と編集

編集や校正に携わる人に必要な本と出版の基礎知識をここで押さえ、本や雑誌の核となる企画について、また原稿を出版物にふさわしく整える原稿編集について学びます。

テキスト2,500円(内訳:本の知識500, 原稿編集ルールブック500, 日本語表記ルールブック500, 校正練習帳500)

設計ユニット

本と雑誌の設計

原稿を本や雑誌の形に作り上げるための、出版物設計のセオリーを学びます。読みやすいページにするためのルールから、内容にふさわしい用紙や製本の考えまで、基本的な知識を身につけます。

テキスト2,000円(内訳:本の知識500, 文字の組方ルールブック(タテ組編)500, 文字の組方ルールブック(ヨコ組編)500, 校正記号の使い方500)

校正ユニット①

校正基礎実習

校正の記号の使い方、校正の基本である1字1字の確実な照合、校正刷を読んで問題点をチェックする「素読み校正」など、校正の基礎を実技を通して段階的に学んでいきます。

テキスト3,500円(内訳:本の知識500, 原稿編集ルールブック500, 日本語表記ルールブック500, 文字の組方ルールブック(タテ組編)500, 文字の組方ルールブック(ヨコ組編)500, 校正記号の使い方500, 校正練習帳500)

校正ユニット②

タテ組校正実習

校正ユニット①の学習を基にタテ組のルールを理解し、精度の高い校正の力をつけるための訓練を繰り返していきます。並行して、さまざまな印刷物や状況に対応できる実務能力を身につけていきます。

テキスト4,000円(新編校正技術(上))

校正ユニット③

ヨコ組校正実習

ヨコ組の本の特徴を理解し、ヨコ組校正に必要な欧文文字の知識や記号の使い方、欧文表記や組方ルールを学習しながら一般書籍から専門書まで対応できる校正訓練を行います。

テキスト2,400円(新編校正技術(下))

ユニット選択のめやす

- 出版の世界を理解してから方向をきめたい。
- 受領した原稿の整理をする際のポイントを知って、業務をもっとスムーズに進めたい。(編集担当の方)

編集ユニット

企画と編集

- パソコンは使えるけれど、文字の配列や画面の設計を知り、もっと読みやすくしたい。

設計ユニット

本と雑誌の設計

- 校正の基本をひとつとおろさえない。(企業の広報担当の方)

校正ユニット①

校正基礎実習

- すでにDTPで書籍や雑誌、広報誌などを作っているが、正確で読みやすくするための方法を知りたい。また、その訓練を重ねたい。

設計ユニット

本と雑誌の設計

校正ユニット①

校正基礎実習

- さまざまな印刷物の校正に対応できる力をつけたい。
- 校正の現場に復帰する前に、カンを取り戻しておきたい。

校正ユニット②

タテ組校正実習

校正ユニット③

ヨコ組校正実習

納入方法	合計	申込時納入額	入学金	受講料	テキスト代
一括	59,500円 +テキスト代 編集用具費別※1	59,500円 +テキスト代	内 訳 10,000	49,500	別途 (左記ユニット参照)
分割	60,000円 +テキスト代 編集用具費別※1	40,000円 +テキスト代		50,000 初回30,000 残金20,000	

※1 設計ユニットと校正ユニットは、印刷文字スケールセット1,575円が必要です。
(アメリカンポイント・DTPポイント・級数の3枚 / 各525円)

*表示金額は税込です。すでにお持ちの場合はテキスト代は不要です。

*2 ユニット以上を選択し、受講料を一括納入する場合はさらに割引になります(右表)。

ユニット数	割引受講料
2ユニット	97,000円
3ユニット	142,000円
4ユニット	182,000円

校正検定訓練

校正技能検定〈中級〉〈上級〉対応講座

*講義時間 18:45~20:45 / 週1回×12回 / 春・秋期…中級試験対応訓練 / 冬期…上級試験対応訓練
*開講日(日程)・講義曜日については夜間講座募集要項をご覧ください

「校正技能検定」の〈中級〉、〈上級〉試験合格のためのポイントをおさえていく教室です。各回、試験の実技課題3題のうち1題をテーマとし、実際の試験問題を実習します。実技問題(原稿指定・原稿整理の理解と確認方法、引き合せの方法)はこれまでの学習・訓練の復習にもなり、より確実な校正技能を蓄えていただける内容です。教室では実技問題だけではなく学科問題についての実習も行います。

カリキュラム

- 縦組原稿引き合せ 3回
- 横組原稿引き合せ 3回
- データ原稿校正 4回
- 学科 2回

※講義と実習、実習の解説(入朱例・解答例配布)を行います。

校正技能検定の実技試験の審査基準は以下の5項目

- ① 版面その他の組方が指定通りか確認されている
↓
原稿指定の意味を理解し確認ができる
- ② 本文は原稿(原稿の赤字を含めて)と忠実に照合されている
↓
見落としがない
- ③ 訂正が正確にわかりやすく記入されている
↓
校正記号や入朱の文字が正確。余計な入朱がない
- ④ 疑問が正確にわかりやすく記入されている
↓
疑問の提示が的確にできる
- ⑤ 与えられた時間内に作業が行われている
↓
一定時間内に作業を終えることができる

受講資格

スクール校正講座修了者(修了見込み可)
実務経験者ほか

校正検定訓練学費						
		合計	内訳	入学金	受講料	テキスト代
基本		61,420円				
夜間講座 基本コース 受講者割引	基礎・中級 受講	56,920円	10,000	45,000	48,000	
	基礎または中級の いずれか一方受講	59,920円				

*表示金額は税込です。
*すでに受講歴のある方は入学金は不要です。(通信講座の方は差額が必要です)
*すでに所持の場合はテキスト代は不要です。

InDesign:本づくりコース

就職相談室登録資格

*InDesign [1], [2] 段階の修了が条件です

週1~2回 / Mac使用 / 定員10名 / 担当講師 大西哲彦(編集者、Adobe Certified Training Provider)
*開講日(日程)・講義曜日・講義時間については別紙案内をご覧ください

DTPソフトがひとつと使いこなして、パンフレットや雑誌の見開きページが作れる、さらに組方ルールを知って、本格的な本や雑誌が作れる、— 2段階でInDesignを身につけるコースです。それぞれの段階の単独受講も可能です。

こんな方におすすめします

- DTPデザインの仕事につこうとする方
- DTPの技能だけでなく本づくりの知識も同時に学習したい方
- InDesignを使った出版物・印刷物を作成している方

● InDesign [1], [2] 段階を修了された方は、「就職相談室」への登録資格が得られます。就職相談室は求人情報の提供や就職相談をとおして、修了生の方の求職活動をサポートしています。

カリキュラム

*編集未経験者は受講が必要です

*Mac操作未経験者は受講が必要です

*DTPソフト未経験者は受講が必要です

① DTPに必要な基礎知識 *4時間
~編集と製作の基礎知識~

本の基本知識・原稿整理・印刷知識等を学ぶ講座です。DTPでの本づくりに不可欠な知識を集約しています。

- ・本の基本知識、本の製作工程とDTP
- ・編集と原稿整理の方法
- ・印刷文字と組版の基礎知識
- ・カラー再現の仕組みと理論

② Mac基本操作 *2.5時間

Macの操作がはじめての方を対象とします。

- ・Macintosh本体と周辺機器の知識
- ・IM(=インポート・メソッド、ATOKを使用)の環境設定と文字パレット
- ・テキストデータの作成と修正
- ・基本ショートカット7種
- ・データ保存とバックアップ
- ・MOの扱い、プリント設定など

③ DTP基本操作 *2.5時間

IllustratorやPhotoshopを使用し、基本的な画像の扱い方を学びます。また数値管理と、DTPに必要な誌面上の座標軸の知識を身につけることも目的の1つです。(Mac基本操作と同日に実施)

InDesign [1] DTPでページをつくる *15時間

DTPでパンフレットと雑誌誌面が構成できるようになります。InDesignの基本操作を知り、レイアウト・文字組の考え方を身につけ、IllustratorとPhotoshopの特徴を知って図版をあつかえるようになります。

- **パンフレットをつくる(5時間)**
紙面構成に必要な要素—文字と図版—のあつかいを知る。
(1) Adobe InDesignの概要 (2) フォント環境 / InDesignでの文字のあつかい
(3) 新規ドキュメントの作成 (4) 文字設定・組版設定の各種 (5) 図版のあつかいと挿入 (6) プリント設定とプリント
- **見開きページをつくる(5時間)**
雑誌形式の基本処理。
見開き誌面のレイアウトに集中する。
(1) 見開ページでの誌面展開 (2) 本文と見出し(フレームグリッドとテキストフレーム)
(3) 画像データの条件 / 写真原稿のあつかい (4) 図版とキャプション
(5) マスターページとは / ノンブル(ページ番号)の設定 (6) 高品質な組版とは
- **Illustrator・Photoshopのあつかい方を知る(5時間)**
IllustratorとPhotoshopの基本と色の知識を身につける。
(1) Illustratorでの文字処理を知る (2) 基本的な図版をつくる
(3) 濃淡やカラー・グラデーション設定を行う (4) Photoshopで写真を開く
(5) 角度の修正やトリミングを行う (6) 色・明度・彩度を調整する

InDesign [2] DTPで本や雑誌をつくる *20時間

出版物をデザインするための考え方(組方ルール)と、それを実現するための、InDesignのより高度な活用方法を覚えます。

- **雑誌をつくる(10時間)**
ページものの本格処理を行う。
和文組版のポイントを知り、本のルールを身につける。
(1) タイトルまわりの高度な処理 (2) 文字カラーのあつかいと色の登録
(3) ソフトの機能を活用し、統一感のあるページ設計を行う
(4) 段落スタイルの活用で組版を合理化する (5) 欧文フォントを正しくあつかう
- **意外にむずかしい本格的な縦組設定を身につける。**
(1) 約物を正しく処理する (2) 行頭・行末の複雑なルールを適用する
(3) InDesign「文字組み設定」の内容を修正する
(4) ルビの方法を知り、InDesignで実践する
(5) 表組の考え方を身につけ、ルールどおりに組む
(6) Illustratorで図版を作成、InDesignに貼り込む
- **単行本をつくる(10時間)**
高度な単行本の本格製作に取り組む。
(1) 必要ページを自動作成する (2) 複数の種類の見出しを処理する
(3) 引用・箇条書きの設定と登録を行う (4) 注の種類を知り、実践する
(5) 合成フォントの作成と処理を行う
- **時代が求める高品位組版を実践する。**
(1) 本格的な「文字組み設定」を作成、適用する (2) 図版の大きさ・解像度を設定する
(3) 高度な図版・キャプション設定を行う (4) 伝統的な表組を知り、実践する
(5) 書籍にあわせたノンブル・柱を設定する
(6) ワークフローを考え、ドキュメントのPDF化などを行う

InDesign:本づくりコース学費(一括申込割引/分割納入)											
納入方法	合計	申込時納入額	内訳	受講料			テキスト代				
				①編集の基礎知識※1	②Mac基本操作	③DTP基本操作		別途			
基本	159,000円 +テキスト代	159,000円 +テキスト代	10,000	8,000 ※3	7,500 ※3	7,500 ※3	122,000 初回51,000+残金25,000×3				
一括申込割引	155,000円 +テキスト代	155,000円 +テキスト代									
分割	159,000円 +テキスト代	84,000円 +テキスト代									

※1 テキスト代「標準編集必修 第2版」1,700円
※2 テキスト代「文字の組方ルールブック」(タテ組編)・(ヨコ組編) 各500円
※3 ①②③は、InDesign [1]とあわせてお申込みいただけます。
(①②③のみの受講はできません)
*表示金額は税込です。すでにお持ちの場合はテキスト代は不要です。
*定員制のため、学費を納入いただいた方から先着順とさせていただきます。
お早めにお申込みください。常設講座の受講生・修了生割引があります。
*分割納入の場合は「分割額」を事務局宛にご請求ください。
*入学申込書と学費を添えてお申込みください。
ウェブサイトからもお申込みいただけます。

校正技能検定

校正検定には〈上級〉〈中級〉〈初級〉の三段階があります。〈初級〉は規定のコース修了により、〈中級〉と〈上級〉は、それぞれ縦組・横組の実技試験と、校正・編集・製作に関する知識や漢字・表記について問う学科試験により認定されます。

〈中級〉の検定は「指示された方針に従って、比較的単純な組版についての初校原稿引合せと通読作業を遂行する能力」を審査します。基本的な校正の技能が身につけていることを確認する試験です。年2回7月と12月に実施されます。

その上の段階の〈上級〉は、〈中級〉合格者のみに受験資格があります。「指示された方針に従って、比較的複雑な組版についての初校原稿引合せ及び再校赤字引合せ・素読みの作業を遂行する能力を審査する」試験で、年1回3月に実施されます。合格すれば、適切な判断力のある校正者として自信をもって就職活動ができます。

校正技能検定〈中級〉試験

■実技試験 出題範囲

- 縦組 初校原稿引合せ
- 縦組 データ入稿の初校引合せと通読作業
- 横組 初校原稿引合せ

■学科試験 出題範囲

- 校正作業に必要な知識
編集・製作に関する基本知識、校正作業に関する知識
- 用字用語に関する知識
漢字、仮名づかいに関する知識

校正技能検定〈上級〉試験

■実技試験 出題範囲

- 縦組 初校原稿引合せ
- 横組 初校原稿引合せ
- 縦組 赤字引合せ・素読み

■学科試験 出題範囲

- 校正作業に必要な知識
編集・製作に関する基本知識、校正作業に関する知識
- 用字用語に関する知識
漢字、仮名づかい、欧字・記号に関する知識

校正技能検定は日本エディタースクールが主催するものです。

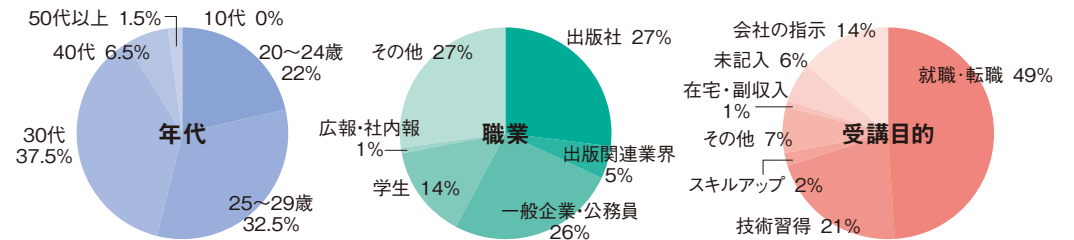
専門委員からなる技能検定委員会がおかれ、この委員会が各検定試験の受験資格審査、当該年度の試験科目の選定、試験問題の作成ならびに採点基準の決定、試験結果を審査し、合否を決定します。

第21期 校正技能検定委員

- | | |
|--------|----------------------------|
| 五十嵐美那子 | 生活思想社代表、編集・校正者 |
| 居郷英司 | 居郷デザイン工房代表、編集者・デザイナー |
| 井上 巴 | フリー校正者 |
| 後藤敏一 | 元岩波書店校正部課長 |
| 小松 勉 | フリー校正者 |
| 境田稔信 | フリー校正者 |
| 高虫佳伸 | フリー校正者、実践女子短大非常勤講師 |
| 寺島敏郎 | 元岩波書店取締役校正部長 |
| 外池孝男 | 日本エディタースクール出版部、校正記号検討委員会委員 |
| 中村 幹 | 印刷学会出版部代表 |
| 野村保恵 | あるふあ企画代表、校正記号検討委員会委員長 |
| 宮崎 英 | フリー校正者 |
| 矢彦孝彦 | 新潮社校閲部部長、校正記号検討委員会委員 |

年代・職業・目的など、受講生はさまざま

夜間講座には毎期200名をこえる人が在籍し学んでいます。一般企業に勤めている方や学生、主婦の方など受講生のほとんどの方が出版についての学習は初めてですが、就職・転職、検定試験合格を目標に技術習得にとりくんでいます。研修の場として出版社や企業からも活用されています。



受講の目的と受講コース

受講の目的は人によってさまざまですが、「就職・転職に備える」、「技術の習得」・「スキラップ」とする方が大半を占めています。

就職・転職に備える

全体の7割の方は、出版社や関連業種への就職・転職、あるいは検定試験に合格して自宅で校正の仕事をするを目標として、基礎から順に技能が習得できる「編集コース」や「校正コース」を受講されています。この中には、「仕事として、やはり文字にかかわりたい」など以前からの希望を実現させるために一般企業に勤務しながら通学されている方、大学在学中から編集技能を学んで、将来の就職活動に生かしたいと考えている学生の方などいろいろな方がいらっしゃいます。

技術の習得・スキラップ

出版社勤務の方や企業で印刷物を扱う仕事に就いている方、これから就く予定がある方は、仕事に必要な技能にしばって受講できる「選択研修コース」を利用されています。また毎期20社以上の出版社や一般企業から研修の場としても利用されています。新人研修の場合は、本づくり全体の基礎知識が習得できる「編集コース」や「校正コース」など、技能が一から学べるコースを受講されています。

Q&A 本校に多く寄せられる質問をまとめました

- Q 編集の仕事に就きたいのですが、雑誌か書籍か決めていません。勉強しながら方向性をはっきりさせていくことは可能でしょうか？**

A 夜間講座の編集コースでは、企画と編集、本と雑誌の設計、校正の3つの技能(ユニット)からなっており、編集全般の基礎が学べます。編集コースで学びながら出版の仕事を理解し、どういう仕事に興味があるか、何に向いているかを判断していくとよいでしょう。このほかに、DTP体験講座やInDesign:本づくりコースではDTPの知識が身につけられ、言葉と文章の直し方・活かし方では、雑誌づくりで役立つ記事作成のポイントがおさえられるので、必要に応じて受講するとよいでしょう。
- Q 20代の方がほとんどなのですが、出版の仕事の経験のない30代だと入学して学んでも年齢的に就職が不利なのではないでしょうか？**

A そのようなことはありません。大学新卒者の多い全日制の編集者養成総合科を別としますと、受講生の年齢は20代から30代前半の方が大半を占めています。出版の仕事の経験はなく、転職のきっかけとして受講する方は少なくありません。本校は出版界からの求人が多く、また大半は年齢不問です。学歴や年齢より、実務能力があり、それぞれの求人社にとって相性のよい人を求めていると思われます。
- Q 編集未経験でも就職は大丈夫なのではないでしょうか？**

A 求人社は、採用者が本校でしっかり技能を体得したことを重視しています。したがって、編集実務が未経験であっても、就職に関して心配する必要はありません。求人社の中には、新聞で編集経験者を募集したが、よい人が得られず、むしろ、出版の仕事に情熱をもち、基本を確実に学んでいる日本エディタースクールの修了生から人材を求めたいとおっしゃる会社もあります。
- Q 講義を休んだ場合のフォローはありますか？**

A 開講日には講義ノートと講義日程表をお渡ししています。また、毎回の講義終了後には、講義記録を担当講師の方に書いていただき、お休みされた場合は、当該日の講義記録と配布した教材があればそれも一緒にお渡しいたします。
- Q レイアウトもDTPができなくてはならないのでしょうか？**

A 本校への求人をみると、レイアウトとしての求人が年間4%、DTPが扱えるデザイナーの募集が11%となっています。この数字をみても、レイアウトとして就職し、仕事をしていくにはDTPの習得は欠かせないといえます。
- Q 校正技能検定試験の合格は就職に役立つのでしょうか？**

A 日本エディタースクールが主催する校正技能検定は1966年以来実施されてきました。出版界で唯一の資格(民間資格)です。本校への求人社もしばしば、校正検定の合格を採用条件にしています。資格関係の本や雑誌にもよく紹介されます。校正ができるという確実な証明は、校正者としてはもちろんのこと、編集者としての就職にも有利に働きます。編集の仕事にも必ず校正が(多い少ないはありますが)含まれるからです。

就職と求人状況 — 「就職相談室」が強力にサポート

「就職相談室」では就職相談や求人社の紹介など、修了生の方の就職活動をサポートしています。毎年多くの求人が寄せられています。

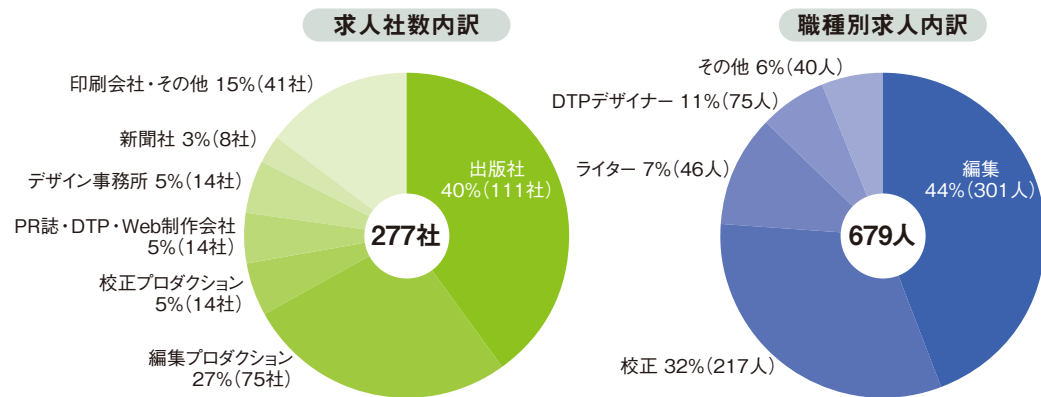
1 実務をこなせる編集技能に評価

出版社や関連会社の多くは、すぐに実務をこなせる一定の編集技能を持った人を求めています。本校の修了生はこの点が評価され、相談室に年間多数の求人が寄せられています。2007年度(07年4月～08年3月)の本校宛の求人は277社679人でした。

2 求人社の内訳と職種の内訳

求人社の業種には、出版社や編集・校正プロダクション、デザイン事務所、PR誌・DTP・Web制作会社、新聞社など出版関連業種のほかに一般企業などもあり、多方面から求人が寄せられます。そのうち出版社や編集プロダクションが7割近くを占めています。

職種は編集職が44%、校正者が32%、DTPデザイナーが11%などとなっています。求人社が提示する条件には、学歴や年齢などを不問とするところが多く、何よりも技能を重視していることがわかります。



3 主な求人会社

■ 出版全般・Web制作

七賢出版
UNBIND
セマーナ

■ 書籍編集者・製作者

アーツ アンド クラフツ
あるむ
インターネット
カラーズ
ケイズプロダクション
ゲンダイメディアカル
国際語学社
造事務所
蒼蒼社
草土出版
DHパブリッシング
永末書店
21世紀BOX
日本電気協会新聞部
バンティアン
美研インターナショナル

■ 編集補助

アーヴル
朝日出版社
アリス館
一石堂
イメージング・ワークス
エーディーサマーズ
エキスパートスタッフ
宙出版
学習研究社
神奈川新聞社
ガンザオーリ

■ 雑誌編集者

アプレ・コミュニケーションズ
ウィズマン
エイト出版
エディターズ・キャンプ
エンタミックス
オフィスエルク
キューブリック
ケイオフィス
月刊日本橋
健学社
公文堂
ゴーゴル
コーポレイトデザイン研究所
情報技研
スリージャグス
全国学校図書館協議会
立花書房

鐵五郎企画
トゥインクル
都恋堂
ナナネール!
日本鉄道施設協会
ハーツ&マインズ
文化工房
ボンズ
マガジン大地
夢現舎
リベロ・アンド・カンパニー
ワンズ

■ 編集補助

グスコ出版
鶏卵肉情報センター
産業用水調査会
ジーハウス
出版文化社
主婦と生活社
スクウェア・エニックス
スタジオダック
スリーシーズン
青弓社
成山堂書店
二玄社
日刊電気通信社
日本医療企画
バド・インターナショナル
早川書房
ハローケイエンターテインメント

文化出版局
木耀社
ユニバーサルステージ
代々木文化学園
料理王国社
ワンダーブック

■ 校正者

iD8 HAWAII LLC
朝日新聞総合サービス
アド
あとらす二十一
イズ・アソシエイツ
ヴェリタ
エステユーエス
オフィス東和
オメガコム
Culture Publication
くすのき舎
クリーク・アンド・リバー社
ザッツ
集英社
新風社
地域新聞社
中央公論新社
データリンクス
日新印刷
バイステップ
プランディット
平凡社
ペーパーハウス
マッドハウス
大和企画印刷
歴史の森
ローソンチケット
ワードシステム
ワイズファクトリー

■ デザイナー

岡村デザイン事務所
産業編集センター
チームエー

ダイレクト
テナーコーポレーション
ドリームキャリア
ビーワークス
フレア
吉野工房
La Chica

■ DTPオペレーター

カイショー
共和クリエイト
サイエンス&テクノロジー
産業編集センター
秀英堂紙工印刷
DTP出版
ビーコム
勉誠出版

■ デザイナー

岡村デザイン事務所

■ ライター

医療情報研究所
キャラクター・データバンク
キャラット
金羊社
産業編集センター
タッドファクトリー
デイリー・インフォメーション
陶業時報社
マガジントップ
モーク・ワン

■ その他

アール・ピー・アイ
志泉書院
大和書房
マッドハウス

*公開可能な求人社様のみ掲載しています。

修了生からのメッセージ

全コースの学習が仕事の自信に

Oさん 雑誌編集者(株式会社デンタルダイヤモンド社)

今の会社に入って初めての仕事は、6つの製品パンフレットを渡されて、それを紹介する原稿を作成することでした。「パンフレットからポイントを抜き出して、字数内にまとめて……」と、スクールの講義でやってきたことをつなぎ合わせて完成。なんとかクリアできました。会社は歯科医向けの雑誌やムック、書籍を刊行しているところ。面接のとき「医学系の専門知識はいらぬ、編集の技能を求めている」ことを知りましたが、入社早々の仕事でそれを実感しました。

入社して4年目になります。雑誌編集部に所属し、月刊誌のコーナーを7~8本(25頁くらい)担当しています。企画をたてて執筆依頼をし、原稿作成(取材・リライト)から原稿整理、レイアウトをして印刷所に入稿します。それから校正するまでの一貫した業務を1人で担当しています。仕事の中では、取材が一番緊張します。インタビューする人の下調べをし、質問なども自分で考えてから出かけます。

大学卒業後に勤めていた会社を辞めてスクールを受講したのは、文字に関わる仕事がしたいという夢を諦めきれなかったからです。

転職して出版社をめざすので、技能が中途半端だと不利かなと思い、徹底的に勉強しようと決めていました。また、受講料は自分で払うことにしていたので、働きながら通学できる総合コースを選びました。週3~4日通うことになりましたが、さまざまなコースを並行して学習することによって、授業の内容をつなげて考えることができたので、単独受講より理解度は高かったように思います。総合コースの良さかもしれません。当時の作品を見返してみても、なかなかだと思えます。何より、講義が楽しかったんです。

他のコースと比べて受講料はかかりましたが、必要なことは学ぶことができたし、今の仕事にも就けたので、思い切って飛び込んでよかったと思っています。

【受講歴】夜間 総合コース・Mac編集デザインコース

デザインの仕事を楽しむ

Aさん 編集者・デザイナー(株式会社グローバルネット)

大学4年の時に、エディタースクールに入学しました。もともと本は好きだったのですが、大学3年生の就職説明会のときに、出版業界に興味をもちました。「就職活動の前に専門技能を学びたい」と、学校に通うことを家族に相談したところ、意外と協力的でした。興味がある仕事に就いたほうが、充実感があるはずだと説得したら、分かってもらえたようです。大学の単位には余裕がありましたので、ダブルスクールにも自信がありました。

スクールのことは好きな作家の経歴を見て知りました。受講するコースに関しては、レイアウトに興味があったので、あまり悩まずに雑誌コースに決めました。講義は、最初こそ文字の配列や指定の仕方など混乱することもありましたが、受講生同士で教え合っているうちに分かってきて、3カ月が過ぎ、中級クラスにすすんだ時には、すっかり実習が楽しくなっていました。その時の課題は、就職活動のときにも持っていきました。先生のコメントがきっかけで、面接の方との話が

はずみましたが、そのおかげか無事に、就職が決まりました。

会社では、住宅展示場のPR誌を作っています。執筆依頼やラフの作成、取材、原稿書きから校正まで、仕事内容は様々です。やはり、ページの仕上がりを想像し、レイアウトのラフをかいいたり、原稿を書いたりしている時は、好きな仕事をしている充実感があります。文字の配置や、効果的な写真の見せ方などを考えるのにレイアウト実習で考えた誌面構成の知識が役に立っています。

将来のことは、まだ漠然としています。編集の仕事は好奇心の向くままに日々新しい発見があり、確実に視野が広がっていくので楽しいです。

就職活動のときは、規模の大きい会社も受けましたが、小さいところの方がいろいろな経験ができて、自分のキャリアになると思いました。今の会社で、もっと経験して力をつけたいです。

【受講歴】夜間 雑誌コース

学んだことがマネジメントに生きる

Yさん 編集者・企画進行管理(吉野工房)

夜間講座はB段階の書籍ユニットから受講しました。学生の頃から出版関係でアルバイトをしていましたから、ある程度のことは経験済みでした。中級から受講しても大丈夫と自己判断したわけです。専門用語やこれまで知らずにいたこともありましたが、そのつど講師の方に質問したり、テキストを読んだりして修了に必要な課題を仕上げることができました。出版全般の知識と技術をもって仕事をしたいと思っていましたので、書籍ユニット修了後もアルバイトを続けながら「今、覚えておきたい技能や興味のある知識」について、いろんな教室を少しずつ受講しようと思いき、週1回というペースで、結局2年半通学しました。

文章コース受講のときは、返却された課題の添削をなぞってその意味を考えたり、他の人が述べる感想に耳を傾けたり、ちょうど取材のアルバイトをしていたときなので実感をもって講義を受けることができました。また、DTPの面から本づくりを知りたくてMac編集デザインコースを受け、正確な情報を届けるための

技能として校正教室も受講しました。

スクールに来た求人社に応募して編集プロダクションに就職が決まり、現在は、企画進行管理部で働いています。会社はDTP製作も含め複数の専門雑誌・情報誌・書籍の編集製作を行っています。自分の仕事はクライアントに会い、どんな雑誌や書籍にするかを打ち合わせ、編集の方針にそって誌面を具体化していくことです。DTPオペレーターの人が作業をやりやすいように指示し、仕上がりの確認をして印刷所に渡すところまでを担当しています。

Web関連の仕事が増えてきている状況ですし、自分自身も企画や編集のほうにもっと踏み込みたいとも考えています。そのためにも、忙しい毎日ですが新しい知識や技術を吸収していきたいと思えます。

【受講歴】夜間 書籍コース 中級・校正コース 中級・選択研修コース(校正実力養成)・基本文章コース・ジャーナリズム文章コース・Mac編集デザインコース/通信 校正コース
【校正技能検定】第107回(四級)合格

ひたむきな努力で校正者に

Nさん フリー校正者

「これだ!」校正という仕事を見つけたのは、家業を手伝って5年目のときです。何か、自分だけにできる、一生続けられる仕事を探していた時でした。コンピュータの技術が進んでも校正という仕事はなくなることはないだろうし、もともと、国語や漢字の読み書きに興味があったので、私に向いてるんじゃないかと。

エディタースクールを受講しようと思ったのは、校正技能の資格があることでした。民間の資格だけれど、歴史があるので業界の信用があるのではないかと考えたこと、ホームページに受講料が明記されていたので、生活のことも含め働きながらの通学を現実的に考えることができたからです。

校正技能検定の合格を初めから目標にしていたので、緊張感をもって講義にのぞみ、課題は実技試験を意識して時間を測りながらやりました。100点を取るつもりで向かい、落としたところは原因を一つ一つ検証する。その甲斐あってか、中級試験には1回で合格することができました。宿題をファミリーレストランに持ち込

んでやることもありました。7時間ぐらい居続けることになり、お店にはとっては迷惑だったでしょうね。実習の先生は、疑問や質問に耳を傾けてくれ、どうしてこうなるかきちんと理由を説明してくださいました。実務に携わる先生だけあって、現場の話聞くことができたのもよかったです。

就職活動は中級を受かってから始めました。だめで元々、現場を覗くつもりで面接に行ったのですが、簡単な校正の試験をしたあと、「すぐに来て」と採用が決まりました。

仕事は新書の校正・校閲です。正確さはもちろん、スピードが求められるので、時間と自分の仕事量をにらみつつ取り組んでいます。学校で習ったことは、今も仕事の中心にあります。他にも学ぶことがいっぱいあり、将来はいろんなジャンルの書籍に対応できる校正者として自立を考えています。

【受講歴】夜間 校正コース・選択研修コース(校正実力養成)
【校正技能検定】第102回(四級)合格、第106回(三級)合格

夜間講座申込方法

開講日(日程)・講義曜日については夜間講座募集要項をご覧ください

お申込みは下記のいずれかの方法でお願いいたします。正式な申込受付は、原則として学費納入時といたします。ご入金の確認後、開講日のご案内をお送り、またはお渡しいたします。(テキスト・編集用具は開講日にお渡しします)

郵送によるお申込み

入学申込書を本校宛にお送りいただき、学費(申込時納入額)のご入金をお願いいたします。

ウェブサイトからのお申込み

http://www.editor.co.jp/ にアクセスし、「夜間講座」ページの申込フォームからお申込みいただき、学費(申込時納入額)のご入金をお願いいたします。

来校によるお申込み

本校で直接お申込みいただくこともできます。入学申込書と学費(申込時納入額)を日本エディタースクール3階受付にお持ちください。

学費納入

銀行振込・郵便振替または開講日前にご持参ください。
[銀行振込]

- ・三井住友銀行飯田橋支店 普通 2893121
- ・横浜銀行東京支店 普通 1267595
- ・ゆうちょ銀行〇一九店(ゼロイチキューブ) 当座 0008265

口座名=日本エディタースクール(ニホンエディタースクール)

[郵便振替]

口座番号=00140-7-8265

加入者名=日本エディタースクール

宛先

日本エディタースクール 電話03-3263-5891
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-4-6

受付事務

平日10:30~20:00(土曜~15:00、日曜・祝日は業務を休みます)

体験 校正1日教室のご案内

校正とはどんな仕事かが体験できます。校正の手順を理解し、正確な校正記号を使って1字1字点検する実習を行います。具体的なイメージを持って学習を始めたい方におすすめいたします。

【通学版】は月1回開催、当日はご希望の方にスクールの講座内容や就職状況についての説明もいたします。【通信版】は随時お申込みいただけます。

本セミナーを受講された方が、総合科(全日制)やスクール常設の校正講座にお申込みの場合、入学金が割引になります。詳細は別紙案内またはウェブサイトをご覧ください。

学校説明会と入学相談のご案内

学校説明会は、毎年5月から翌年3月まで実施しています。当日は、出版界の概要と出版の仕事、本校の求人状況、カリキュラムなどについて詳しくご説明いたします。テキスト・教材・実習作品の展示もご覧いただけます。

実施日と詳細は、本校のウェブサイトでご確認ください。案内請求をされた方には、メールまたはハガキでお知らせします。

入学相談・学校訪問はいつでもお受けしています。気軽にお越しください。ご希望の方は電話・ファクス・メールでご連絡ください。学校説明会のお申込みはウェブサイトからも可能です。

①お申込みの講座に○印をつけてください

※そのほかのコースをご希望の方は空欄にコース名をご記入ください。

夜間講座 (番号を○で囲む)		受講期を○で囲む	土曜講座 (番号を○で囲む)		受講月を記入
1	編集コース	春・秋・冬	1	校正教室(基礎)	月生
2	校正コース	春・秋・冬	2	校正教室(実習)	月生
3	総合コース	春・秋・冬	3	校正教室(演習)	月生
4	選択研修コース (4a~4eを選択)				
4a	a 企画と編集	春・秋・冬	通信講座 (番号を○で囲む)		*未記入
4b	b 本と雑誌の設計	春・秋・冬	1	出版編集コース	月生
4c	c 校正基礎実習	春・秋・冬	2	校正コース	月生
4d	d タテ組校正実習	春・秋・冬	3	校正フレックスコース	月生
4e	e ヨコ組校正実習	春・秋・冬	4	雑誌編集入門コース	月生
5	校正検定訓練(中級)	春・秋・冬	5	文章コース	月生
6	校正検定訓練(上級)	春・秋・冬	6	Word:本づくりコース(総合)	月生
			7	Word:本づくりコース(基本)	月生
			8	雑誌記事入門コース	月生
InDesign (夜または土を○で囲む)		受講月を記入	受講する教室をすべて○で囲む		
夜・土	InDesign:本づくりコース	月生	編集と製作・Mac基本・DTP基本・【1】・【2】		

写真貼付
3×4 cm
写真の裏面に氏名を記入してください

②初めて受講される方は写真をお貼りください

年 月 日 受取
年 月 日 受付

③必要事項をご記入ください

※受講歴のある方の住所・勤務先の項目は、以前ご提出の書類より変更がありましたらご記入ください。

ふりがな	西暦			
氏名	生年月日	年	月	日生
	年齢	歳	性別	男・女
住所(連絡先)	〒 - 都道府県			
	電話番号 () - ()	緊急時連絡 可・不可		
勤務先	携帯番号 () - ()	緊急時連絡 可・不可		
	メールアドレス(携帯)	/ PC ()		
職種・業種	名称	部署		
	〒 - 都道府県			
職種・業種	電話番号 () - () 緊急時連絡 可・不可			
	<input type="checkbox"/> 出版社 <input type="checkbox"/> 編集プロダクション <input type="checkbox"/> 新聞社 <input type="checkbox"/> PR誌・DTP・Web制作 <input type="checkbox"/> デザイン事務所 <input type="checkbox"/> 印刷・製本 <input type="checkbox"/> その他企業 <input type="checkbox"/> 公務員・団体 <input type="checkbox"/> フリー <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> その他 ()			

④初めて受講される方はご記入ください

経験年数	
雑誌編集	年
書籍編集	年
製作	年
校正	年
DTP	年
レイアウト・デザイン	年
広報PR誌	年
パソコン(OS Win・Mac)	年
インターネット・メール	年
Word・Excel	年
InDesign・QuarkXPress	年
Illustrator・Photoshop	年
その他のソフト	年

初めて本校をお知りになった媒体

- ケイコとマナブ *複数回答可
 通信講座大事典
 マスコミ就職読本
 スクール出版物 (書名:)
 インターネットで
 ヤフーなどの検索で知った検索語()
 ほかのサイトからのリンク ()
 知人
 受講歴のある知人
 会社派遣
 資格の本・ガイドブック (書名:)
 その他()

最終学歴	
西暦	年 月
校名	
卒業見込	年 在学・卒業・中退
学校説明会	
参加した()	年 月頃

⑤今回お申込みの講座についてお聞かせください

体験校正1日教室受講歴	無・有(年 月頃)	お申込みの講座をお知りになった媒体 <input type="checkbox"/> ケイコとマナブ *複数回答可 <input type="checkbox"/> 通信講座大事典 <input type="checkbox"/> マスコミ就職読本 <input type="checkbox"/> スクール出版物 <input type="checkbox"/> スクールのサイト <input type="checkbox"/> ほかのサイト () <input type="checkbox"/> 知人 <input type="checkbox"/> 受講歴のある知人 <input type="checkbox"/> 案内書・DM・チラシ <input type="checkbox"/> 会社派遣 <input type="checkbox"/> 資格の本・ガイドブック (書名:) <input type="checkbox"/> その他()
常設講座受講歴	無・有(昼・夜・土・通: 年 月頃)	
受講料負担	自己負担・会社負担・国の教育ローン その他()	
お支払い方法	持参・銀行振込・郵便振替 (月 日 支払済・予定) 全納・分納(回)	
受講目的	*具体的にご記入ください	備考

ふりがな		改姓
氏名		

*この面のご記入は不要です

住所変更	〒	都道府県	
	電話番号 ()	-	緊急時連絡 可・不可
	携帯番号 ()	-	緊急時連絡 可・不可
	メールアドレス(携帯	/ PC)

夜間講座	
1	編集コース
2	校正コース
3	総合コース
4	選択研修コース
4a	a 企画と編集
4b	b 本と雑誌の設計
4c	c 校正基礎実習
4d	d タテ組校正実習
4e	e ヨコ組校正実習
5	校正検定訓練(中級)
6	校正検定訓練(上級)

通信講座	
1	出版編集コース
2	校正コース
3	校正フレックスコース
4	雑誌編集入門コース
5	文章コース
6	Word:本づくりコース(総合)
7	Word:本づくりコース(基本)
8	雑誌記事入門コース

土曜講座	
1	校正教室(基礎)
2	校正教室(実習)
3	校正教室(演習)

編集パソコン技能科	
夜・土	InDesign:本づくりコース
	編集と製作・Mac基本・DTP基本・[1]・[2]

夜間講座	講座番号				
	受付番号				
	受付日				
	入学金	免・差	円	/	円
	受講料	全・分・済	円	/	円
	テキスト代		円	/	円
合計		円	/	円	
通信講座	講座番号				
	受付日				
	入学金	免	円	/	円
	受講料	全・分・済	円	/	円
		円	/	円	
合計		円	/	円	
土曜講座	講座	校正基礎	校正実習	校正演習	
	受付番号				
	受付日				
	入学金	免・差	円	/	円
	受講料	全・分・済	円	/	円
	テキスト代		円	/	円
合計		円	/	円	
編集パソコン技能科	講座	InDesign 夜間・土曜	月生		
	申込教室	編集と製作・Mac基本・DTP基本・[1]・[2]			
	受付番号				
	受付日				
	入学金	免・差	円	/	円
	受講料	全・分・済	円	/	円
	テキスト代		円	/	円
合計		円	/	円	